



玉村町

玉村町は前橋市、高崎市、伊勢崎市、藤岡市の4市と接し、県央の100万都市圏の一角を占める。関越自動車道の高崎・玉村スマートインターチェンジのほか、国道354号、県道藤岡・大胡線などの幹線道路が縦横に走り、交通の利便性が高い。道の駅玉村宿の北側に工業団地も造成中で、今後の発展が期待される。

子育てに優しい町



玉村町の子育て支援



保育料・副食費：第2子以降無償

学校給食費：第2子以降無償(第1子は1/4免除) 2023年4月から

医療費：無料(18歳の年度末まで) 2023年10月から

玉村町は0～18歳までの子どもに対して切れ目のない支援を実施しています。保育所・幼稚園に通う0～5歳児の保育料と副食費が第2子以降は無償です。4月からは、小学生と中学生の学校給食費が、第2子以降は無償となります(第1子は4分の1を免除)。医療費は現在、0～15歳まで無料ですが、10月からは、18歳の誕生日を迎える年の年度末まで無料期間を拡大し、子育てに優しい町を目指します。



子育て世代から 選ばれるまち

玉村町長 石川 眞男

全国で子どもの生まれる数が減っており、当町でも人口は減少傾向にあります。人口減少は行政サービスに多大な影響を与え、町を挙げて子育て世代を支援することが、喫緊の課題となっています。「子育て世代から選ばれるまち」となるため、子育て環境の充実に力を入れ、第2子以降の保育料・副食費と小中学校の給食費無償化の実施や、高校生世代の医療費無料化などにも取り組んでいきます。また、妊娠から18歳までの子育て世帯に、専門職員が一体的に相談支援を行う「こども家庭センター」の開設に向け、準備を進めています。

英語教育では、外国語指導助手(AIT)を町内公立小中学校に配置し、幼稚園や保育所では外国人との触れ合いを通じて英語に親しむ取り組みも行っています。そのほか、町内には国際教育特区による英語に特化した私立小学校もあり、英語教育のニーズに対応しています。

コロナ禍の中、瑞心ちゃん(こ)を出産した咲也香さんは、月に数回、子育て支援センターを利用する。「保育士さんは話やすく、いつも和やか。ほかのママとのコミュニケーションがスムーズに取れるように協力してくれた」とほほ笑む。

咲也香さんは「自然豊かで、散歩中に声をかけてくれる人もいる温かな地域で子育てしたい」と神奈川県からUターンした。自然や人との触れ合いを通して豊かな心を育む保育や教育に期待している。

太田市出身の公務員、堀谷多久磨さんは2019年、結婚を機に妻の咲也香さんの地元、玉村で新生活をスタートし、家を建てた。多久磨さんは「子どもと楽しく遊ぶ公園がたくさんあり、近隣の市や東京にもアクセスしやすい」と利便性に魅力を感じている。

温かな地域で 心豊かな人に

堀谷さん一家



瑞心ちゃんとおもちゃで遊ぶ堀谷さん夫妻



群馬フェリチェ学園
GUNMA FELICE ACADEMY
フェリチェ玉村国際小学校
佐波郡玉村町飯塚 328 <https://felice.ed.jp>
(入学のお問い合わせ) TEL.0270-30-2022

Environment
to Tomorrow
東毛清掃株式会社
(株)東部浄化槽管理センター
代表取締役 大月 宏明
佐波郡玉村町五科162-1 TEL.0270-65-6570

TANAKA
田中建設株式会社
本社／伊勢崎市連取町3309-7 TEL.0270-23-8111代
支店／佐波郡玉村町大字福島45-2 TEL.0270-65-2111代

玉村町建設業組合
青野土建(株) (有)温井技建
(株)川端土建 萩原造園土木(株)
五料産業(株) (株)峰岸工業
(株)徳江工務店 (株)宮下双建

地域の力 応援キャンペーン ぐんま愛 協賛社

(順不同)



地域の力 応援キャンペーン
ぐんま愛

「ぐんま愛」は、地域の課題をともに考え、地域の魅力を発信するお手伝いをするキャンペーンです。上毛新聞社は、県内自治体と協賛企業・団体の協力を得て2016年から「ぐんま愛」を展開しています。